

# 採用に関するQ&A！！

## Q 税関職員になるには？

**A** 人事院が実施する国家公務員試験及び、門司税関の採用面接の**両方に合格**する必要があります。一連の流れはこちら！→ [大卒](#) / [高卒](#)

※門司税関では以下の試験区分から採用しています。

○一般職大卒程度

行政九州、行政中国、デジタル・電気・電子、機械、土木、建築、物理、化学、農学、教養九州、教養中国

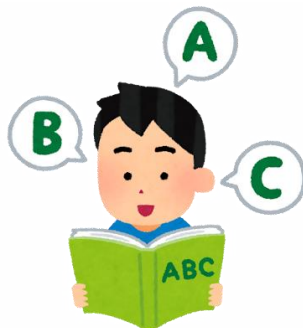
○一般職高卒者

事務九州、事務中国、技術九州、技術中国



## Q 採用されるために必要な資格は？

**A** **特に必要な資格はありません**。税関職員は海港や空港などの日本の水際で仕事をしていますので、語学力が求められることがありますが、研修制度が充実していますので、学生時代から語学に精通している必要はありません。門司税関では特に英語、中国語、韓国語に力を入れており、**本人の能力や希望に応じて語学力を伸ばしていくことができます**。



Q

## 税関職員としてのやりがいとは？

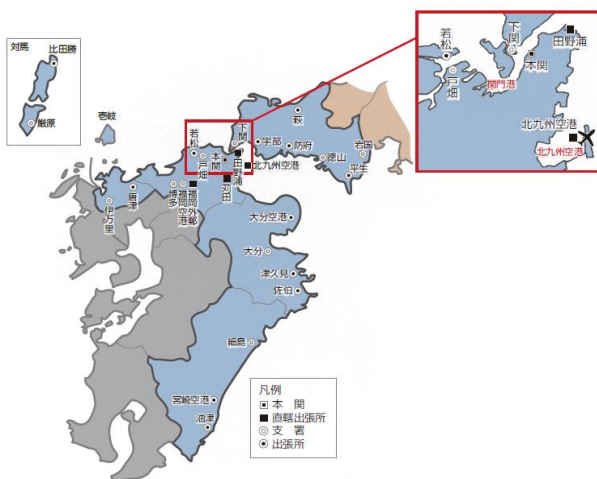
- A** 社会に貢献できることです！例えば、不正薬物や銃器等を摘発し日本への密輸入を防ぐことや、虚偽申告等による脱税を見抜き、適正な関税等を徴収することが、日本を守ることにつながります。



Q

## 勤務地はどこ？

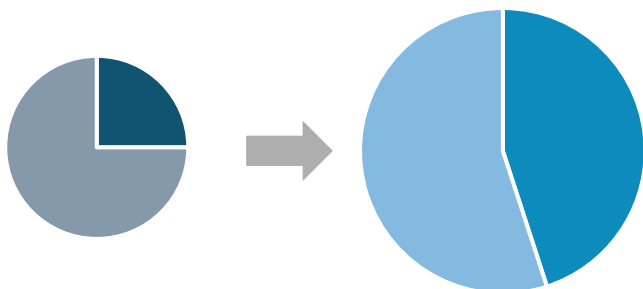
- A** 東九州と長崎県の対馬、山口県が勤務地です。福岡県と下関市に職員の8.5割が勤務しており、1.5割がその他の場所で勤務しています。個人差がありますが、遠方への転勤は概ね10年に1回程度です。



Q

## 女性の割合は？

- A** 女性職員数の割合は約2.5割です。ただし、近年は女性の採用割合が高くなってきており、30代までの世代では女性の割合は4割近くとなります。



Q

## 当直やシフト勤務はあるの？

- A** 全体の3割程度が変則勤務で働いています。例えば、福岡空港では早朝から夜間まで飛行機が入港するため、早出・遅出に分かれたシフト体制で勤務しています。また、博多港などの大規模な海港では昼夜を問わず船が入港してきますので、当直勤務を行っています。



Q

## 門司税関の特色は？

- A** 業務が多彩なところが特色です。  
例えばアジアの玄関口である福岡空港が管轄内にあり、その旅客数は全国の空港では4番目となります。地理的にアジア大陸に近いので、韓国や中国からの旅客が多いです。  
また、日本に6か所しかない、国際郵便物を検査する福岡外郵便出張所を有しているなど、バリエーション豊かです。



Q

## 麻薬探知犬と仕事をするには資格が必要？

- A** 麻薬探知犬を扱う職員をハンドラーといい、特別な資格は必要ありません。

